

編集後記

体育学部の創設 30 周年記念に呼応して、論叢の 30 年記念号を出そう、——そう思いついたのは、30 巻 1 号を 10 月末に、2 ヶ月もおくれてやっと出して、いそぎ次の 2 号の準備に向かったときでした。今しかない。それにしても期間が無さすぎると危ぶんだのですが、何とか予定通り終わることが出来ました。これはひとえに、多忙な時間をさいて祝詞を御執筆下さった梅村理事長と松田学長、また、回顧、“創刊の頃”をお寄せいただいた藤松学部長の御支援によるものであります。ここに心から感謝申し上げます。

また、内表紙などの写真は企画部の好意によりました。さらに記念号にふさわしく多数の学術論文の御投稿に、編集は大変助かりました。厚く御礼申しあげます。

編集を終わって、やはり記念号を企画してよかったと思いました。“創刊の頃”には当時の若い活気をみる思いがします。ひととき立ち止まって初心を思い、今後を展望すべき節目として、30 年はよい時期と思います。時あたかも昭和から平成へと舞台が回り、内にあっては大学院博士課程の完成の年を迎えます。

体育学部と言うからには、何はにおいても、すぐれたスポーツマンが居て、指導的スポーツ理論があって、高い身体文化の哲学の語られることが求められるように思います。論叢の今後の発展のために、スポーツの機能学や形態学についての、もっと多くの体験の記述が望まれるように思います。気軽に積極的な御寄稿を引きつづきおねがいたします。

(御手洗玄洋)

論叢編集委員

御手洗	玄	洋
陳	全	寿
田	中	豊穂
堀	山	健治
藤	原	健固

中京大学体育学論叢

第30巻 第2号

発行日 平成元年3月15日

発行所 中京大学学術研究会

名古屋市昭和区八事102の2

中京大学学術研究会会長

発行責任者 梅村清弘

印刷所 株式会社 刈谷高速印刷
名古屋市西区名駅二丁目18-15
〒451 ☎052 (563) 4011(代)